

図7 胃生検に認められた寄生虫様構造物(HE染色) 厚い外皮様好酸性層板状構造が観察されるが、内部構造を欠く。植物由来を示唆するクロロフィルや細胞壁構造も認められない。本態不明のこの異物周囲の粘膜固有層には、好酸球浸潤を伴う強い炎症反応が惹起されている。

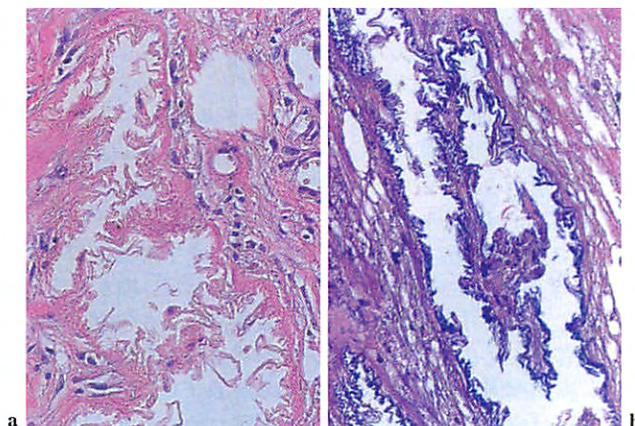


図8 皮膚生検に観察された限局型膜形成性脂肪異常養症(a: HE染色, b: LFB-HE染色) 非特異的慢性炎症像を伴って、不規則波状に蛇行する好酸性膜様構造物が形成されている。本膜状物はLFB染色陽性であり、リン脂質に富むことがわかる。好酸球浸潤はみられない。脂肪壊死に続発する限局性の変性所見とみなされる。

#### 参考文献

- 1) 石倉肇, 佐藤昇志, 高橋秀史ほか: ヒト胃壁より摘出された *Anisakis simplex* L<sub>3</sub> に寄生していた *Nybelinia surmenicola* Okada, 1929 のプレロセルコイドについて. 病理と臨床 1996, 14: 1205-1214
- 2) Nasu, T., Tsukahara, Y., Terayama, K.: A lipid

metabolic disease “membranous lipodystrophy”; An autopsy case of demonstrating numerous peculiar membrane structures composed of compound lipid in bone and bone marrow and various adipose tissues. Acta Pathol Jpn 1973, 23: 539-558

#### コラム

##### 偶然

東海大学附属病院の地下にあるレストランでは「トーカイ・ワイン」が飲める。これは、東海大学の特産品ではない。東海大学はハンガリーの首都ブダペストにあるゼンメルワイス大学と交流しているのだが、ハンガリー特産のワインの名称がたまたま「トーカイ・ワイン」なのだ。

さて、医学部のある日本の大学で、その英語の意味がちょっと恥ずかしいのはどこ？群馬大学と近畿大学が正解。Gumma は第3期梅毒の病変「ゴム腫」に相当する。群馬大は正しくは“Gunma” University であって、決してゴム腫大学とは書かない。Kinky, つまり kinky は「よじれた」という意味がある。kinky hair disease という先天性疾患が知られている。kinky には「隠語」としてもう一つの意味がある。それは、「性的によじれた＝性的異常趣味の」。両大学の先生がた、ごめんなさい。

笑えない笑い話。ある日本の新聞社のパリ駐在員の名前

はムッシュー「コン」。フランス語でコンは、女性のある部分を指す。彼は、パリ滞在の2年間ムッシュー「イマ」で通したそう。いっぽう、ケニアの首都ナイロビに赴任した重要人物の名前は熊田氏。スワヒリ語で「クマ」は、ずばり女性のその部分。この場合は、隠し立てしようがない。自分の名前を紹介するたびに、ケニアの男性ににやりとされたそう。

小生が唯一知っているイタリア語は「85=octanta cinque」。その発音が「おっ立った〇〇〇」に似ている。以前、ローマを訪れたとき、案内の男性に教えてあげた。「日本人の若い女性はイタリア語で85の発音はできないよ。“erected penis”とは言いにくいから。」彼は手をたたいて喜んでくれた。お礼に、特別のサービスを受けた記憶はないが。

はしたない話ばかりで、たいへんお粗末さまでした。